

屋上緑化

異業種交流の中で「地球温暖化について、国や自治体にまかせるだけでなく自分達も出来る事を提案し、行動しよう」そんな呼びかけに賛同した4社で、2006年都市及び環境緑化の普及促進を目的に「環境緑化システム研究会」を立ち上げました。その交流の一環として、2009年7月・フジヤマ本社ビル5階屋上に、屋上緑化のモデル庭園を造りました。

施工に際しては、今回の屋上緑化は既存建物上である為、建築基準法の60kg/m²以下の荷重になるように荷重計算をし、屋上の防水層を傷つけない対策を行ない、施工しました。

芝生広場の中にウッドベンチを置き、ラベンダー、ローズマリー等を植栽したハーブ花壇を配し、芝生周りには乾燥に強いコニファー(針葉樹)の地被類を配しました。また、軽量化を図る為、従来の土壌による工法ではなく、木材チップを圧縮した植栽基盤材を利用し、薄層化を図りました。ベンチ・デッキは出来るだけ製品(完成品)を使わないようにし、

原材料から製作してコストを下げています。植栽基盤材については浸水性や保水性に優れたスギの間伐材のチップを使用していますが、将来的には地元産の間伐材の使用を検討しています。植栽基盤材等を利用することで敷設が容易になり、コスト的にも工事費が抑えられました。



屋上庭園は昼休みの社員の憩いの場であると共に、普通の市民が身近に屋上緑化を見学できる場所でもあるのです。これは本社ビルが市中心部に立地しているため、1階入り口に設置した屋上緑化の看板を見て、通りすがりの人達が見学に訪れてくれるからです。また、この緑の屋根のおかげで電気使用量も削減され、予想以上の効果に驚いています。

屋上庭園への案内版

県内において、屋上緑化に対する関心はまだ高いとは言えません。当社が率先して行うことで、地球温暖化防止について、より多くの市民や企業の方々に関心を持っていただき、個々のできる範囲で、共に活動に参加して下さることを願っています。



施工前



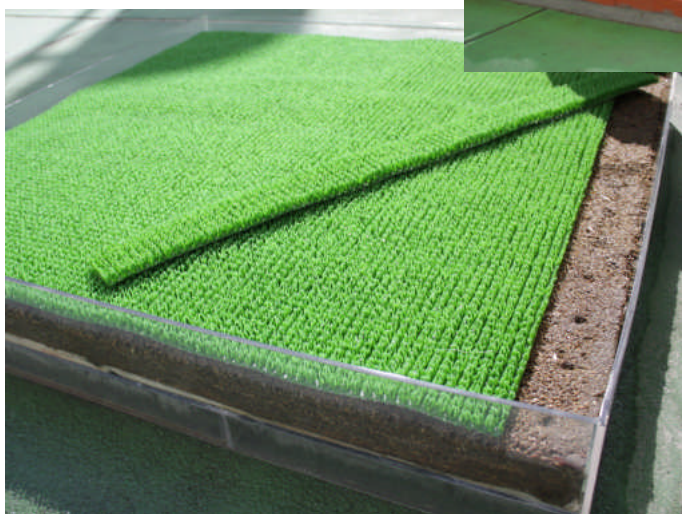
植栽基盤材敷設



屋上の説明文



完成直後



植栽基盤の説明用



かん水タイマー